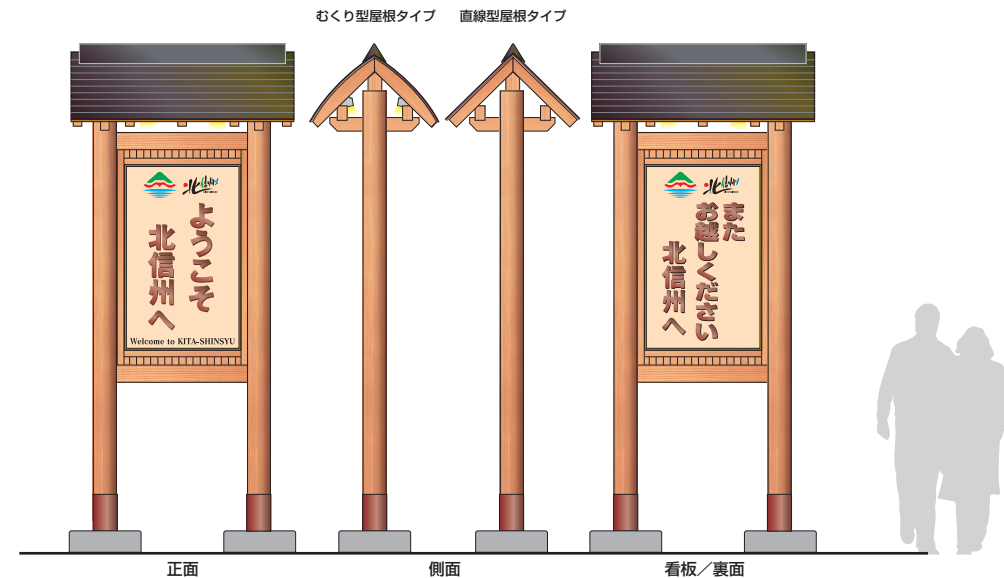


1. 圏界域サイン

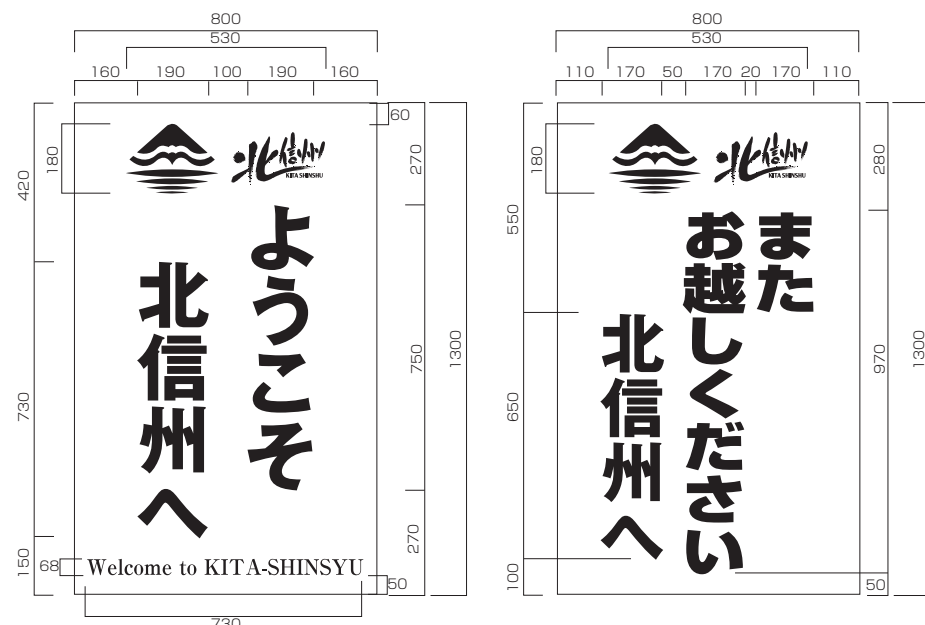


【デザインの意図】

- 北信州の木造建築をイメージした屋根付き2柱看板です。北信州の景観にふさわしいよう主材には自然木スギ材を利用し、木目が生かされた落ち着いた風合いに仕上げます。
- 屋根は雪国信濃の家屋を連想する伝統的な一文字葺き屋根仕様にします。
- 北信広域圏域境の幹線道路に面した主要結節点に設置し、「ようこそ・またお越し下さい」と気持ちよく来訪者・観光客を対象に走行する車両を挨拶・誘導を目的としたサインです。
- 情報の更新ができるよう板面差し替え可能タイプにします。
- 設置箇所により屋根形状・サイズ等の変更が可能です。

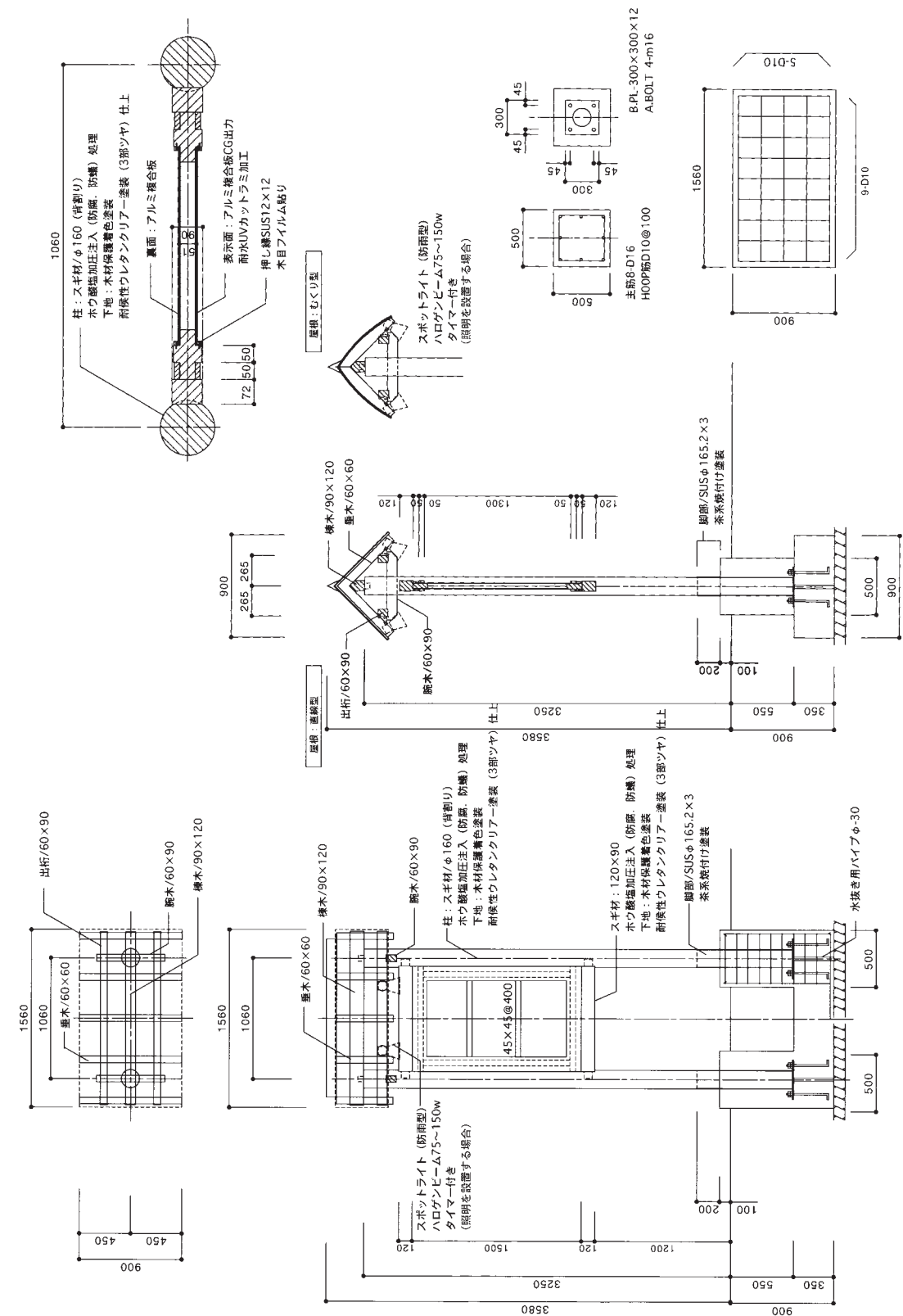
【設置に際しての留意点】

- 北信広域圏域境の幹線道路に面した主要結節点に設置します。
- 基礎コンクリート露出部分については、高さ150mmを基準としますが、設置場所等の諸条件に合わせ、露出部分の高低可変を可能とします。
- 板面下支柱の高さについては、設置場所等の諸条件に合わせ、高低可変を可能とします。
- 屋根カラー及び屋根形状は、設置場所の周辺建物等の景観に合わせ、カラーバージョンの選択及び、屋根形状をむくり型又は直線型を基本とし選択使用を可能とします。
- 夜間スポット照明を設置する場合は、夜間でも認識できるようにします。安定した電力確保のため基本的に一般家庭用電源を設置、タイマー式照明にします。



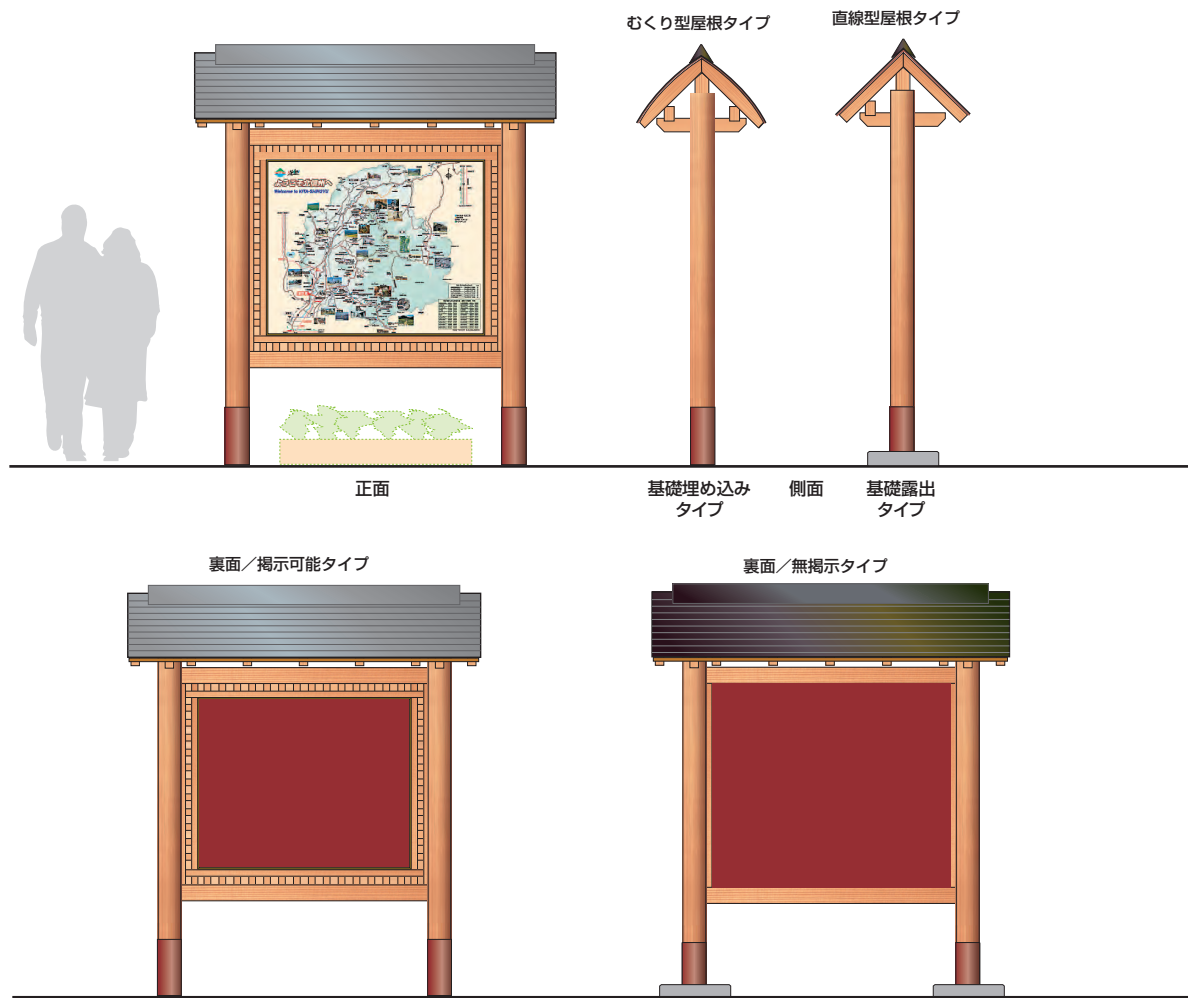
※色彩・指定色は全て表記ルール（表示内容と仕様）に従うこと。

圏界域サイン/基本設計図



2. 広域案内サイン

広域案内サイン/基本設計図



【デザインの意図】

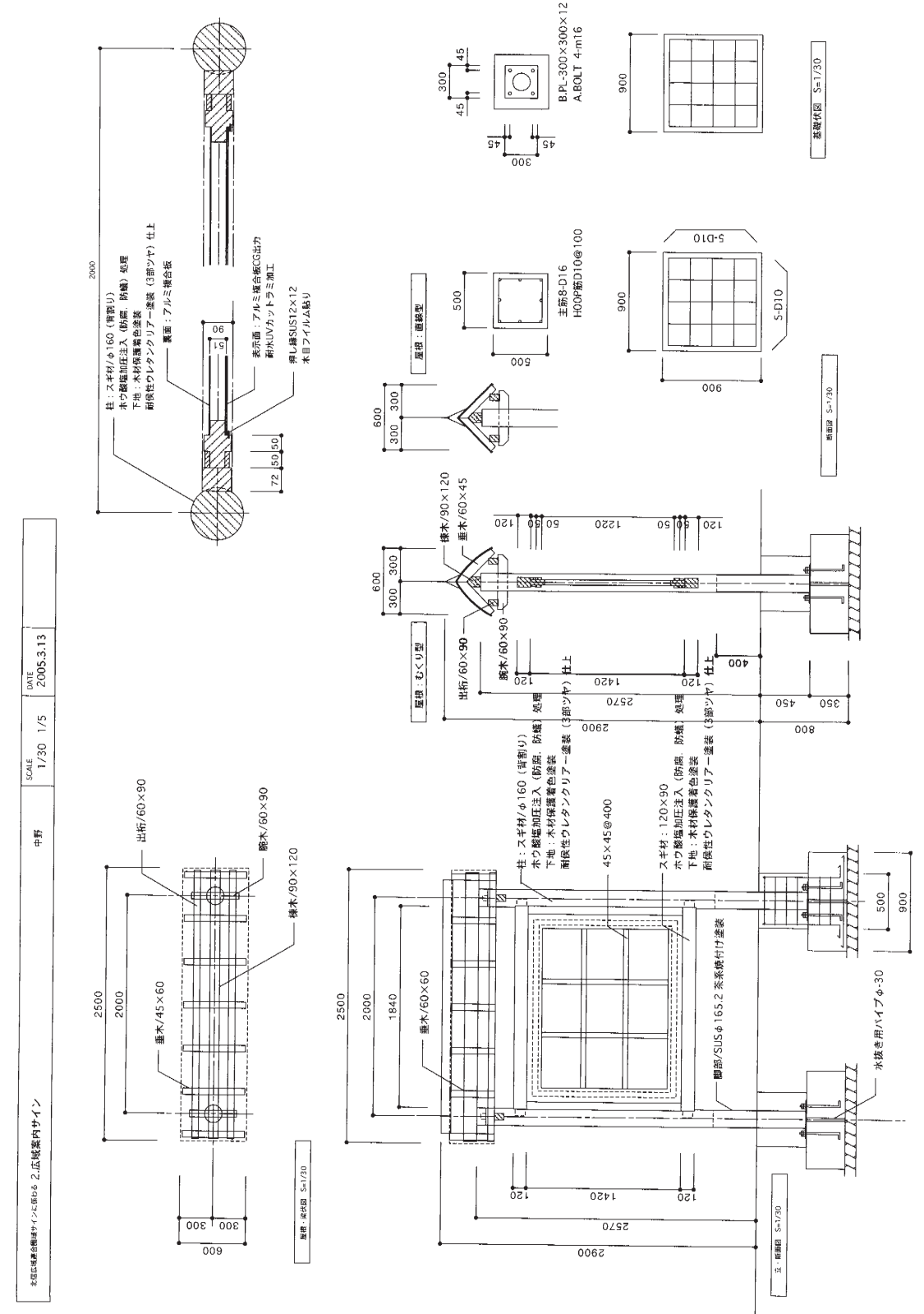
- 北信州の木造建築をイメージした屋根付き2柱看板です。北信州の景観にふさわしい主材には自然木スギ材を利用し、木目が生かされた落ち着いた風合いに仕上げます。
- 屋根は雪国信濃の家屋を連想する伝統的な一文字葺き屋根仕様にします。
- 表示情報（地図）簡潔に解りやすく大きく表現します。
- 情報の更新ができるよう板面差し替え可能タイプにします。
- 設置箇所により屋根形状・サイズ等の変更が可能です。

【設置に際しての留意点】

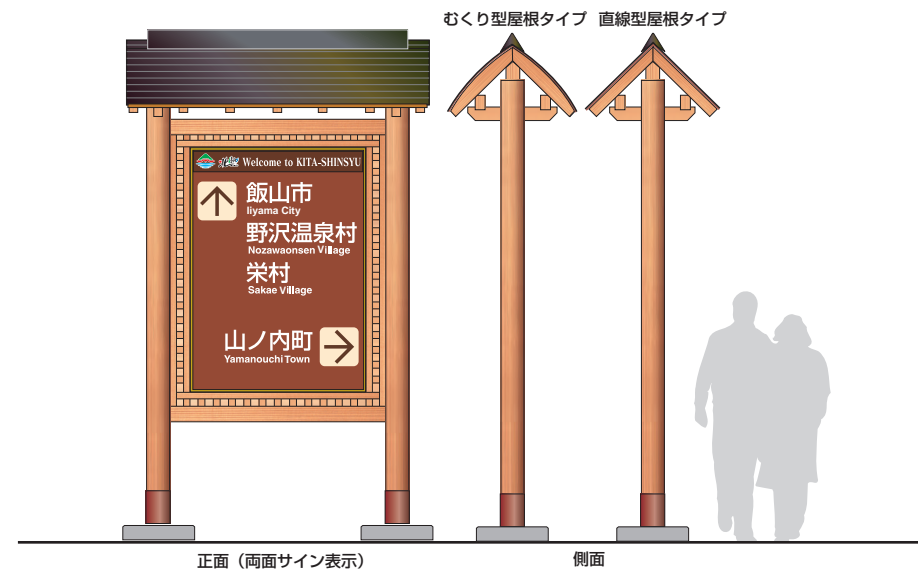
- 広域案内サインは、サインの前に立ち止まって見るものであるため、見る人のスペースの確保と歩行者の通行を阻害しないように配慮し設置してください。
 - 人の往來の多い場所に設置の場合は基礎コンクリート部分の露出を無くし歩き等の安全に配慮し、周辺景観に合わせます。
 - 設置場所の状況により基礎露出が必要な場合は、高さ100mmを基本とし、設置場所等の諸条件による基礎コンクリート部分の高低可変を可能とします。
 - 看板下（基礎部分周り）は、植栽・花壇・プランター栽培などを施し、周辺の景観に合わせ、看板の設置景観を良くします。
 - 表示面の方向と情報（地図）の天地方向の関係に配慮してください。
- ※表記方法はグラフィックマニュアル/広域案内サインの表記ルールを参照ください。



この図は表示レイアウトの一例です。



3.市町村誘導サイン



【デザインの意図】

- 北信州の木造建築をイメージした屋根付き2柱看板です。北信州の景観にふさわしいよう主材には自然木スギ材を利用し、木目が生かされた落ち着いた風合いに仕上げます。
- 屋根は雪国信濃の家屋を連想する伝統的な一字書き屋根仕様にします。
- 市町村誘導サインは各市町村の主要幹線道路の分岐点に設置し、市町村への誘導を目的としたサインです。
- 情報の更新ができるよう板面差し替え可能タイプにします。
- 設置箇所により屋根形状・サイズ等の変更が可能です。

【設置に際しての留意点】

- 基礎コンクリート露出部分については、高さ100mmを基準としますが、設置場所等の諸条件に合わせ、露出部分の高低可変を可能とします。
- 板面下支柱の高さについては、設置場所等の諸条件に合わせ、高低可変を可能とします。
- 屋根カラー及び屋根形状は、設置場所の周辺建物等の景観に合わせ、カラーバージョンの選択及び、屋根形状をむくり型又は直線型を基本とし選択使用を可能とします。

方向指示マーク表記（矢印表記）

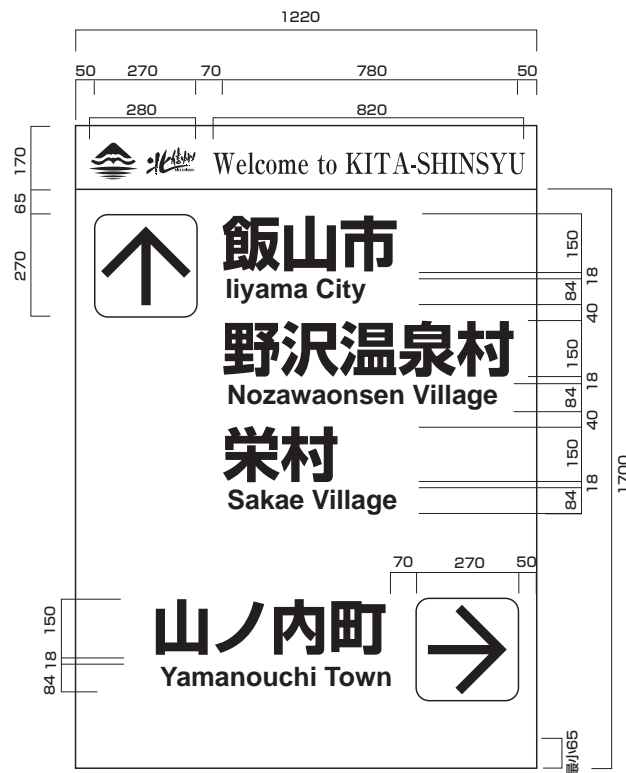


表記市町村名（6か所）

和文表記	英文表記
中野市	Nakano City
飯山市	Iiyama City
山ノ内町	Yamanouchi Town
木島平村	Kijimadaira Village
野沢温泉村	Nozawaonsen Village
栄村	Sakae Village

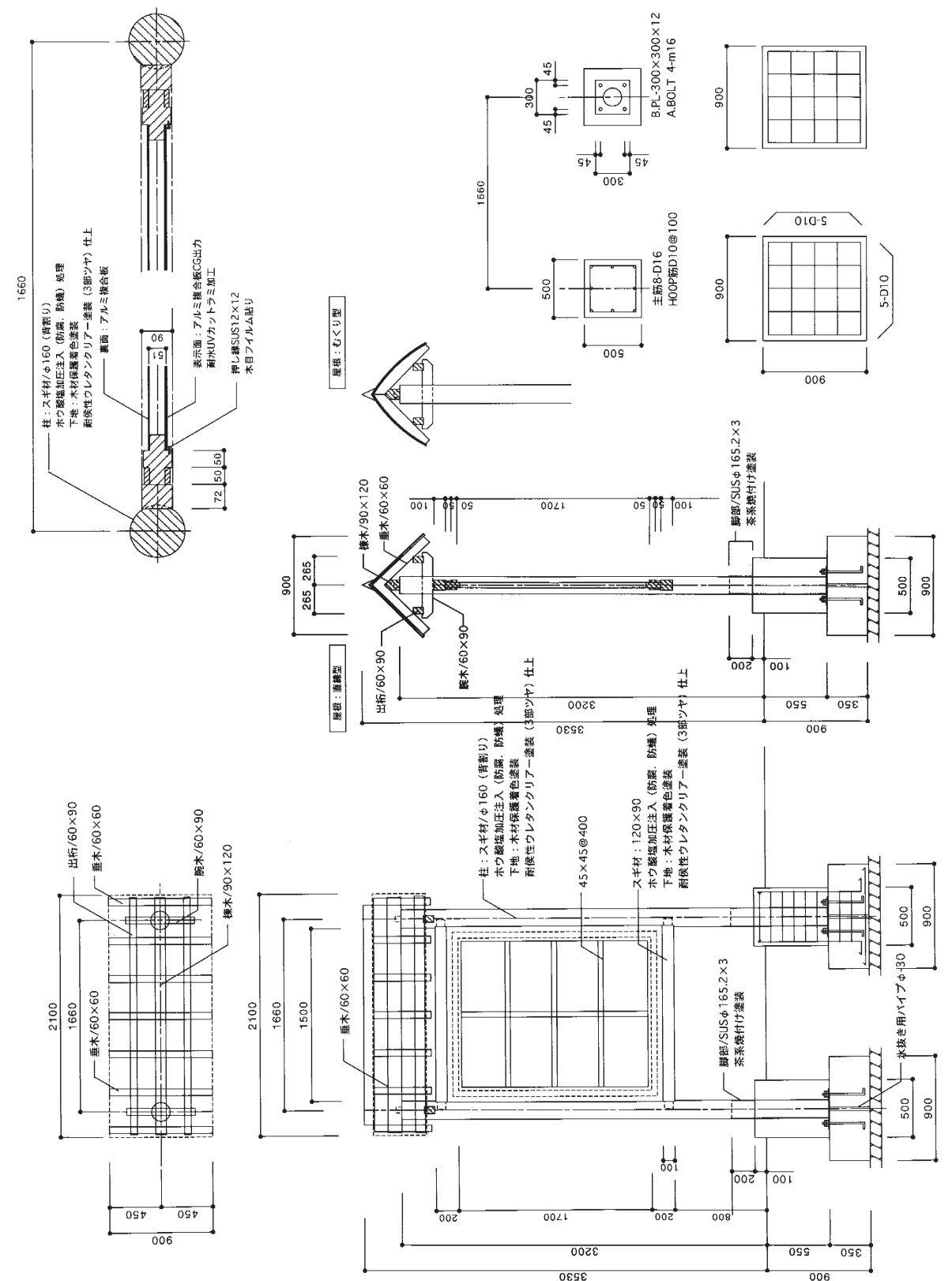
和文書体：モリサワ 新ゴB
英文書体：ヘルベチカポールド

この図は表示レイアウト例です。

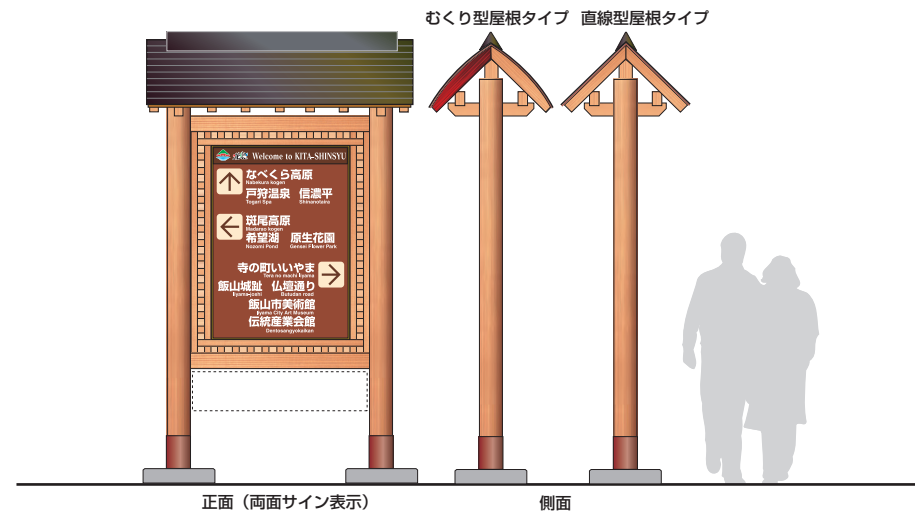


※表記内容は設置場所に合わせ、矢印方向・市町村名を決定する。
※色彩・指定色は全て表記ルール（表示内容と仕様）に従うこと。

市町村誘導サイン/基本設計図



4.施設誘導サイン<大型>



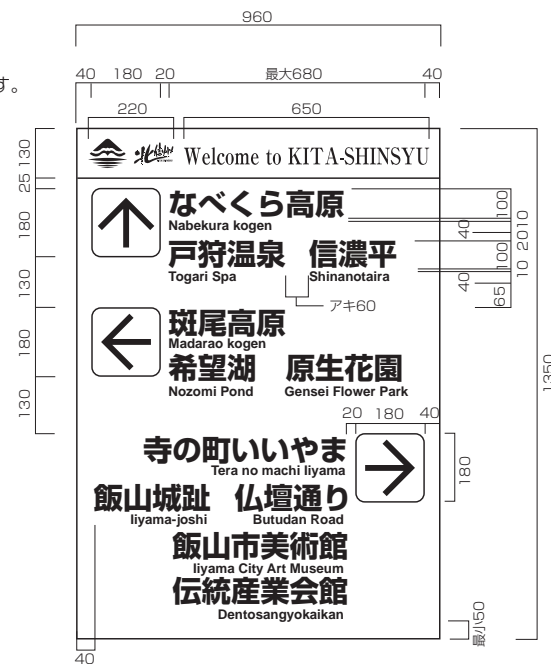
【デザインの意図】

- 北信州の木造建築をイメージした屋根付き2柱看板です。北信州の景観にふさわしいよう主材には自然木スギ材を利用し、木目が生かされた落ち着いた風合いに仕上げます。
- 屋根は雪国信濃の家屋を連想する伝統的な一文字葺き屋根仕様にします。
- 町内の幹線道路を走行する車両及び歩行者に対し誘導を目的としたサインです。
- 情報の更新ができるよう板面差し替え可能タイプにします。
- 表示板面下のスペースを利用し、期間限定・施設イベント告知等の情報も加えることも可能です。
- 設置箇所により屋根形状・サイズ等の変更が可能です。

【設置に際しての留意点】

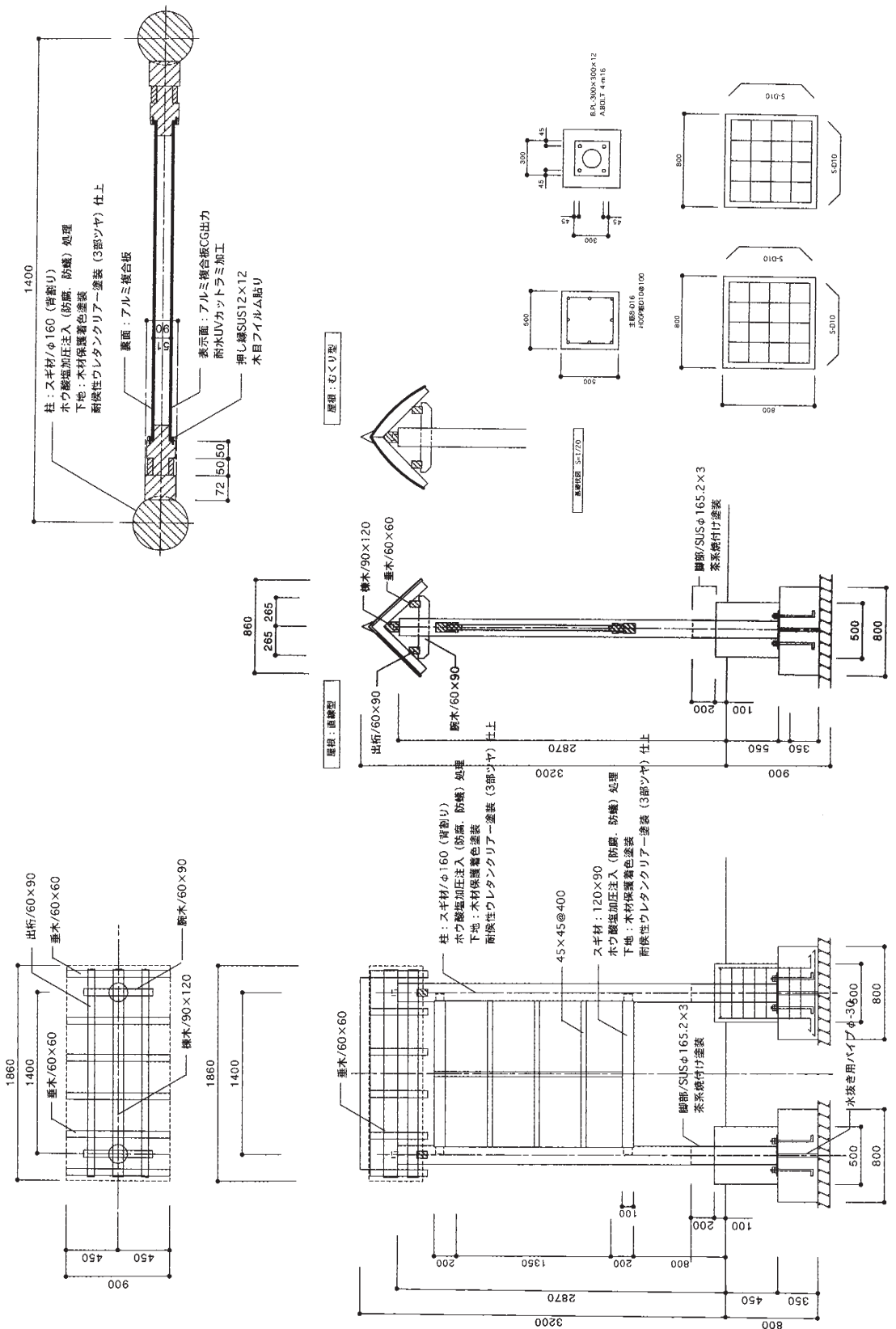
- 施設誘導サイン（大型）は主要幹線道路の分岐点に設置し、広域的に施設及び観光資源地の情報を提供します。
- 施設誘導サイン設置において、この大型サインより大きなサイズが必要な場合は、市町村誘導サインのサイズと構造仕様に合わせます。
- 基礎コンクリート露出部分については、高さ100mmを基準としますが、設置場所等の諸条件に合わせ、露出部分の高低可変を可能とします。
- 板面下支柱の高さについては、設置場所等の諸条件に合わせ、高低可変を可能とします。
- 屋根カラー及び屋根形状は、設置場所の周辺建物等の景観に合わせ、カラーバージョンの選択及び、屋根形状をむくり型又は直線型を基本とし選択使用を可能とします。

この図は表示レイアウト例です。

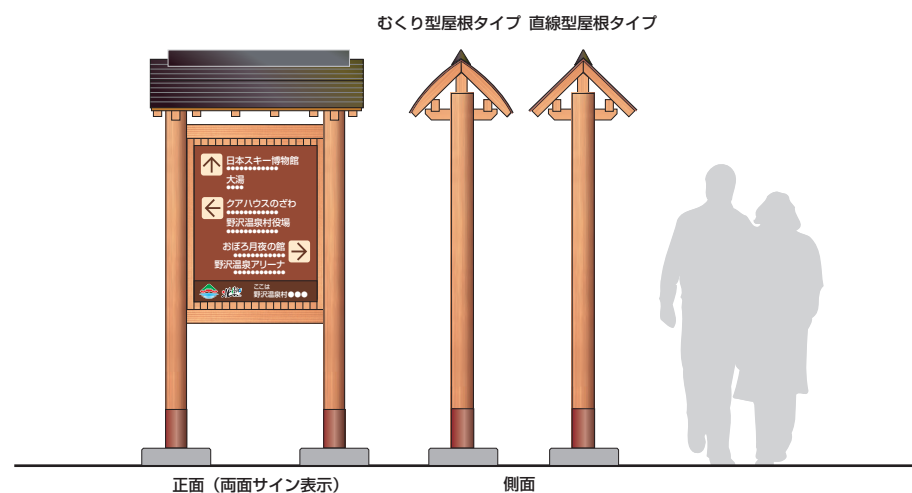


※表記内容は設置場所に合わせ、矢印方向・施設・観光地資源名を決定する。
 ※色彩・指定色は全て表記ルール（表示内容と仕様）に従うこと。

施設誘導サイン<大型>基本設計図



施設誘導サイン<小型>



むくり型屋根タイプ 直線型屋根タイプ

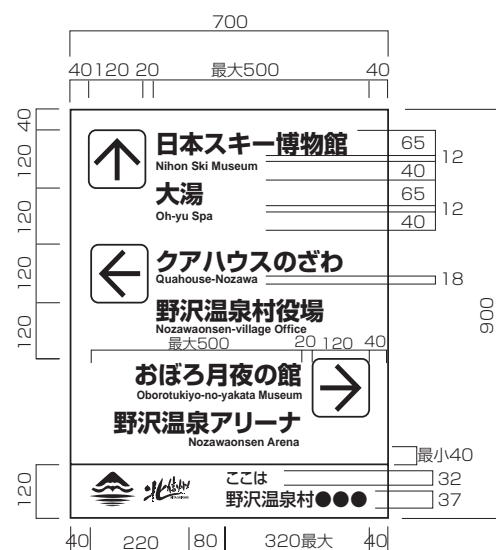
【デザインの意図】

- 北信州の木造建築をイメージした屋根付き2柱看板です。北信州の景観にふさわしいよう主材には自然木スギ材を利用し、木目が生かされた落ち着いた風合いに仕上げます。
- 屋根は雪国信濃の家屋を連想する伝統的な一文字置き屋根仕様にします。
- 町内の幹線道路を走行する車両及び歩行者に対し誘導を目的としたサインです。
- 情報の更新ができるよう板面差し替え可能タイプにします。
- 設置箇所により屋根形状・サイズ等の変更が可能です。

【設置に際しての留意点】

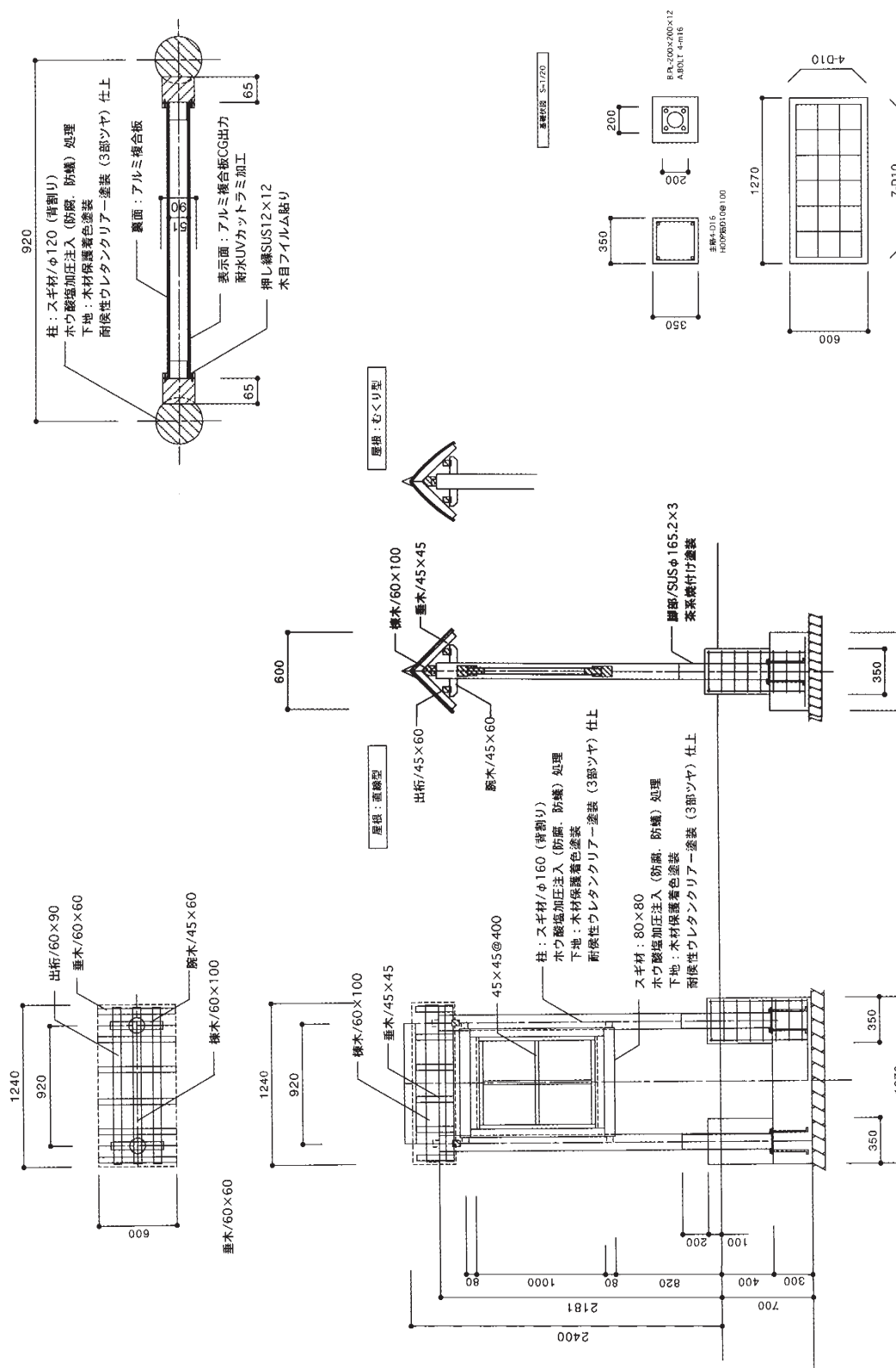
- 施設誘導サイン<小型>は主要幹線道路の分岐点に設置し、広域的に施設及び観光資源地の情報を提供します。
- <大型>の設置が難しい場合や道路幅が狭い場合など、直進の誘導など<大型>が必要ない場合に<小型>サインを用います。
- 基礎コンクリート露出部分については、高さ100mmを基準としますが、設置場所等の諸条件に合わせ、露出部分の高低可変を可能とします。
- 板面下支柱の高さについては、設置場所等の諸条件に合わせ、高低可変を可能とします。
- 屋根カラー及び屋根形状は、設置場所の周辺建物等の景観に合わせ、カラーバージョンの選択及び、屋根形状をむくり型又は直線型を基本とし選択使用を可能とします。

この図は表示レイアウト例です。

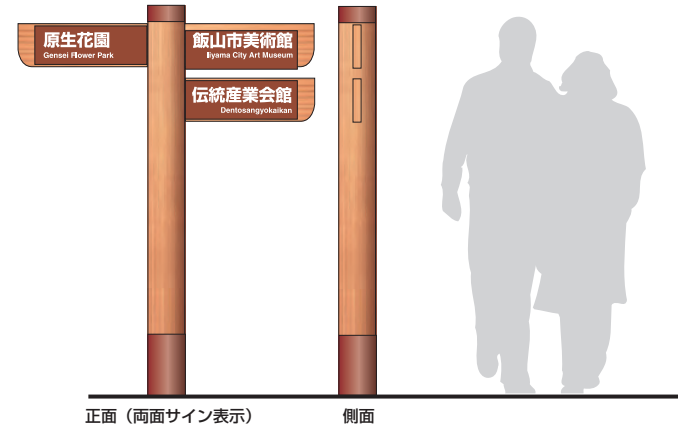


※表記内容は設置場所に合わせ、矢印方向・施設・観光地資源名を決定する。
 ※色彩・指定色は全て表記ルール（表示内容と仕様）に従うこと。

施設誘導サイン<小型>基本設計図



施設誘導サイン< 1 柱丸太型/矢羽タイプ>



正面（両面サイン表示） 側面

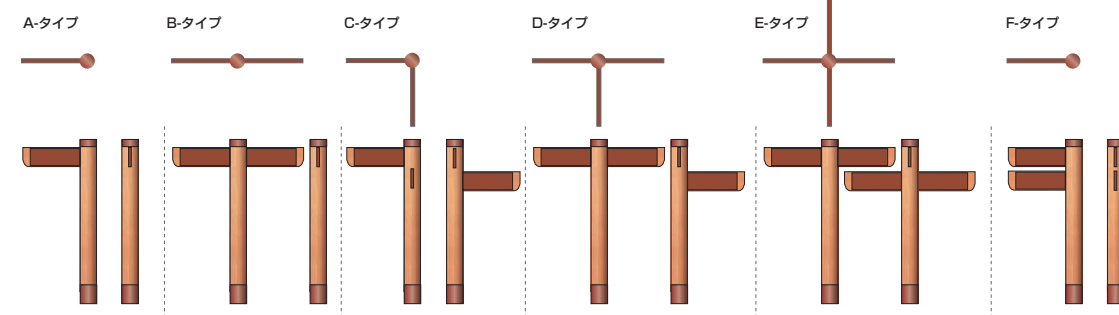
【デザインの意図】

- 施設誘導の中でも、特に目的地の近いエリアに設置されます。
- 市町村の各所にわたって連続して数多く設置されるものです。
- 設置する場所の状況に合わせ、最低の対応ができるよう矢羽型としています。
- 主材は自然木スギ材を利用し、施設誘導の大・小型サインと統一した意匠のサインにします。

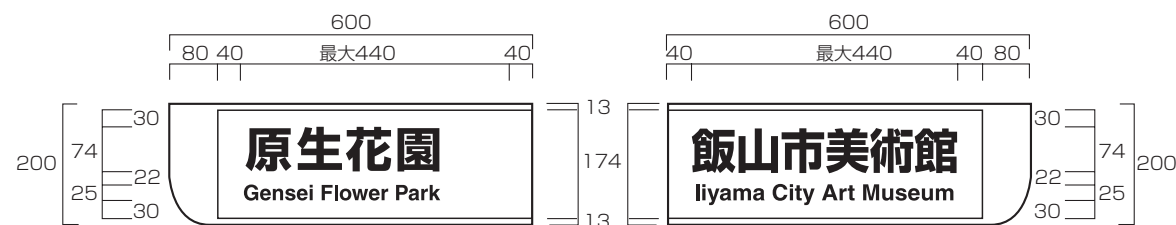
【設置に際しての留意点】

- 歩道に面した交差点等の分岐点に設置されるため、矢羽の飛び出す方向を考慮に入れ、通行の邪魔にならないよう、歩行範囲外の設置場所を選択するなど、歩行者の安全に留意します。
- 基礎部は基本としてコンクリートの露出を無くします。設置場所等の諸条件により基礎コンクリート部分の高低可変、また板面下支柱の高さについても可能とします。基礎コンクリート部分の露出が必要な場合はその高低及び板面下支柱の高さについても現場検討の上、最も良い高さを採用します。

矢羽の取付バリエーション（6タイプ標準として）

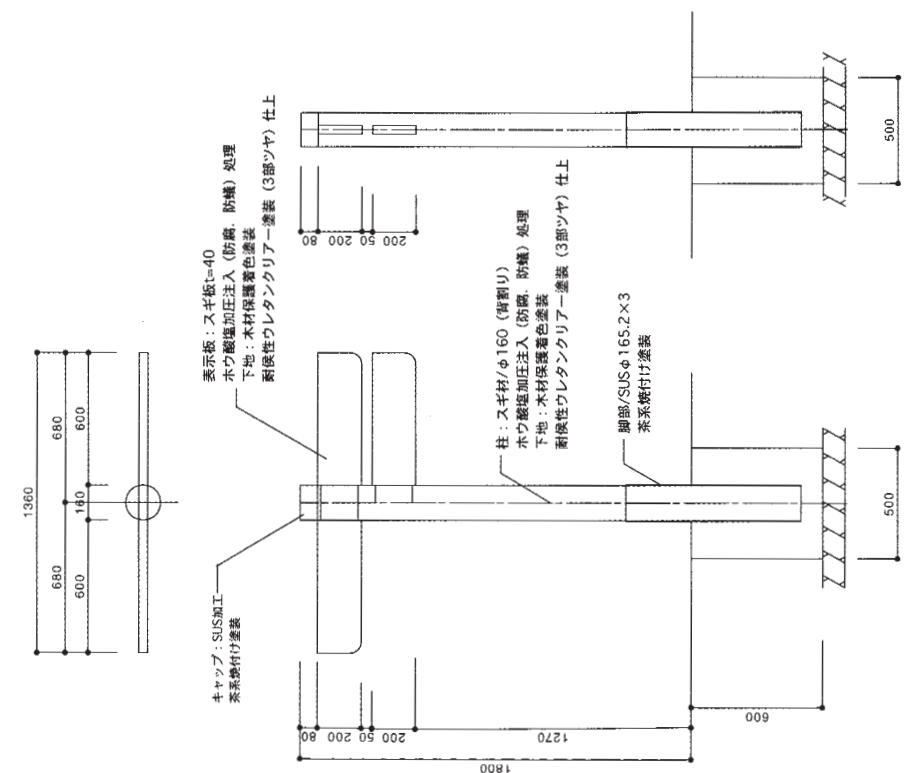
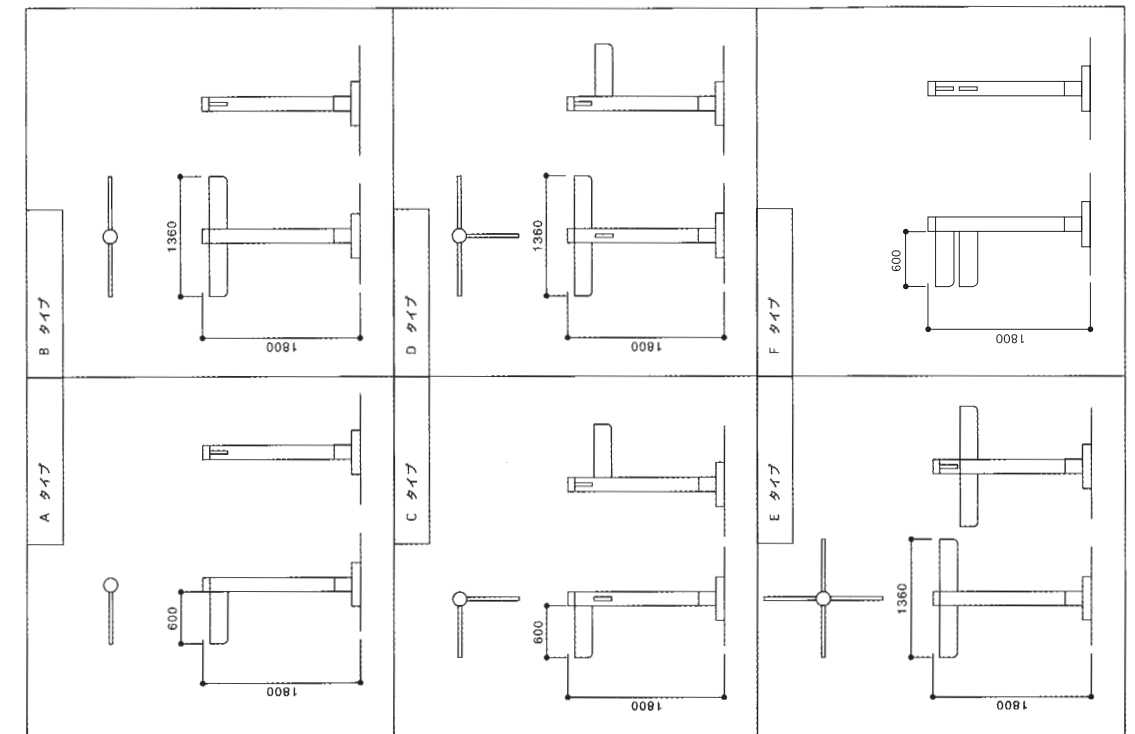


この図は表示レイアウト例です。

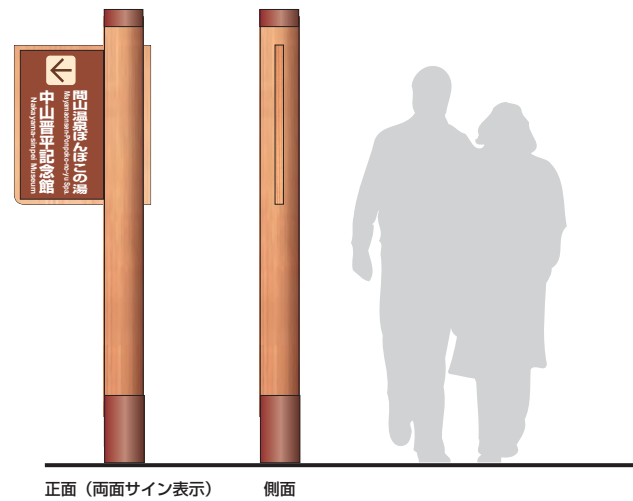


- ※表記内容は設置場所に合わせ、施設・観光資源名を決定する。
- ※色彩・指定色は全て表記ルール（表示内容と仕様）に従うこと。
- ※表示面の枚数・方向は設置場所ごとに検討する。
- ※本柱高さは設置場所ごとに調整、検討する。

施設誘導サイン< 1 柱丸太型/矢羽タイプ>基本設計図



施設誘導サイン< 1 柱丸太型/矩形パネル持出タイプ >



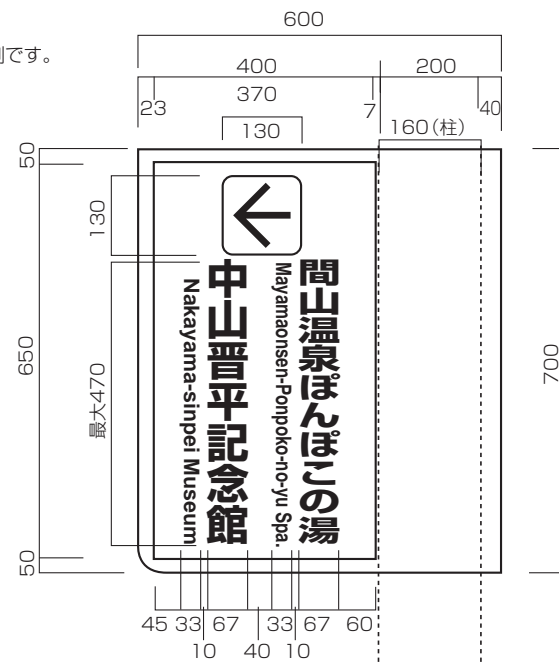
【デザインの意図】

- 施設誘導の中でも、特に目的地の近いエリアに設置されます。
- 市町村の各所にわたって連続して数多く設置されるものです。
- 設置場所に余裕のない場合の誘導サインに適します。記名・説明サインとしては、施設・観光資源の直近に設置します。
- 主材は自然木スギ材を利用し、施設誘導の大・小型サインと統一した意匠のサインにします。
- 支柱は1柱丸太柱を使用し、矩形パネルを用います。

【設置に際しての留意点】

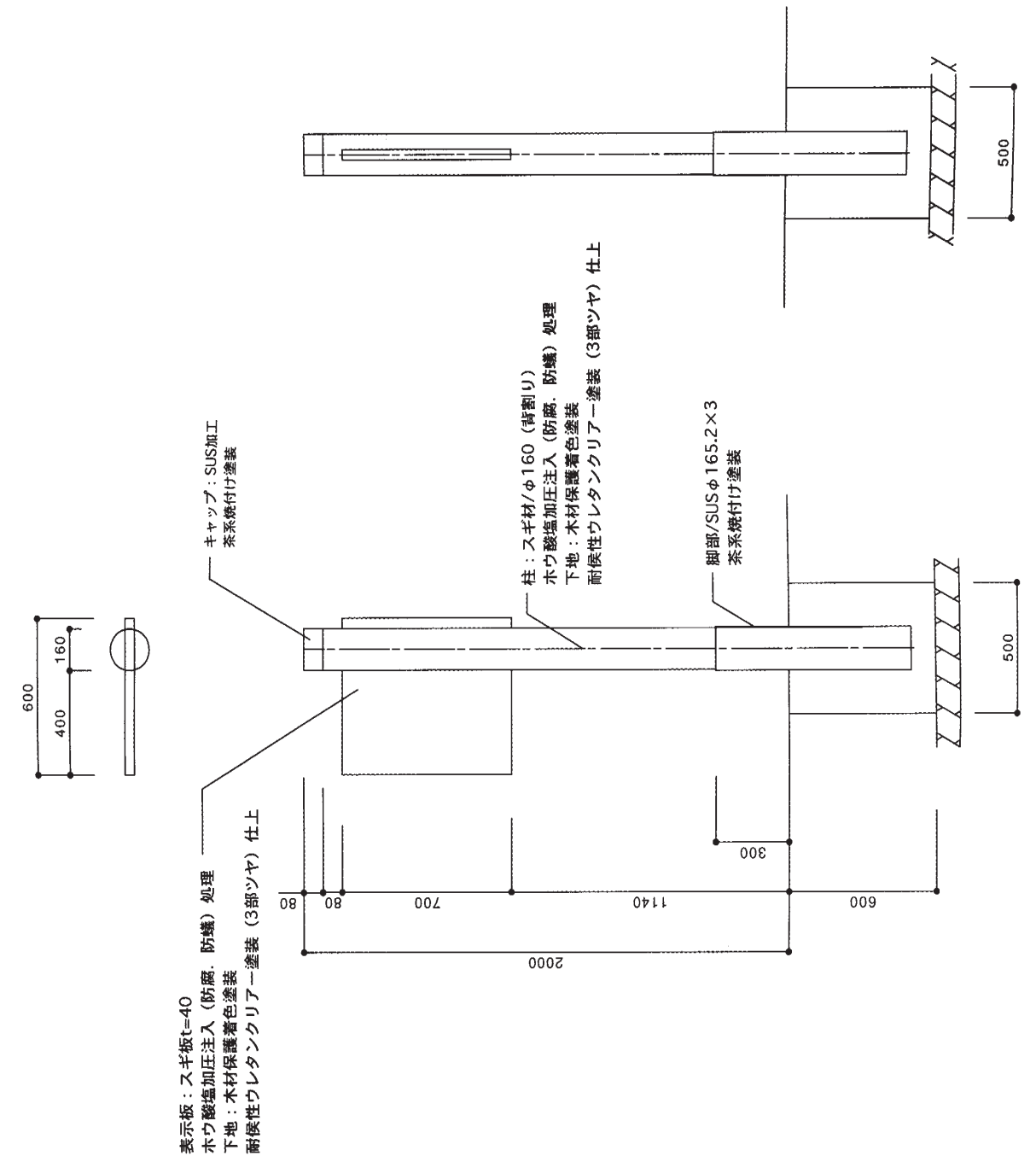
- 歩道に面した交差点等の分岐点に設置されるため、通行のじゃまにならないよう、歩行範囲外の設置場所を選択するなど、歩行者の安全に留意します。
- 基礎部は基本としてコンクリートの露出を無くします。設置場所等の諸条件により基礎コンクリート部分の高低可変、また板面下支柱の高さについても可能とします。基礎コンクリート部分の露出が必要な場合はその高低及び板面下支柱の高さについても現場検討の上、最も良い高さを採用します。

この図は表示レイアウト例です。



- ※表記内容は設置場所に合わせ、施設・観光資源名を決定する。
- ※色彩・指定色は全て表記ルール（表示内容と仕様）に従うこと。
- ※表示面の枚数・方向は設置場所ごとに検討する。
- ※本柱高さは設置場所ごとに調整、検討する。

施設誘導サイン< 1 柱丸太型/矩形パネル持出タイプ >/基本設計図



維持管理の指針

5

- 1.維持管理主体
- 2.広域案内サインの維持管理
- 3.圏域界及び各誘導サインの維持管理

維持管理の指針

1. 維持管理主体

本サインの設置に伴う維持管理については、設置計画の目的に添って迅速な対応と最小限の経費で行う必要があり、次のような考え方により、維持管理を行います。

- (1) 設置後の日常の清掃・維持管理は、北信広域連合のもと、各市町村がこれを行います。
- (2) 修理については、市町村と広域連合が協議を行い対応を検討します。
- (3) 維持管理上で問題が発生した場合は、北信広域連合との協議の上対応策を決定します。

2. 広域案内サインの維持管理

●表示画面

画面情報：「ビューカラー」は、概ね5年程度は退色等の影響はほとんどありません（接着剤のはがれ等を含めメーカー保証は2年）が、町内の道路整備や新規施設の追加・削除等情報は逐次刷新される必要があり大規模な情報変更がなくとも、2～3年おきに情報内容の見直し・確認を行い、必要であれば部分変更のシートを制作し、地図の上に貼り重ねる方法とします。情報の変更有無に関わらず、概ね、10年で、表示板面全体の刷新を行います。また、大規模な道路構造の変化等があった場合はその時点で刷新します。

情報の部分刷新に際しては、北信広域連合を通し、マニュアルに基づくデータ変更技術を持つ指定業者へ発注します。

パネル部：画面情報の見直しの際に、背面、側面のサビ、はがれ等の損傷の有無を確認し、必要に応じてカットシート張りの張り替えや塗装処理を行うものとします。

●構造体

北信州の冬期は積雪地域です。支柱は自然木を活用していますので、防腐劣化を出来るだけ防ぐため、降雪時は支柱部・基礎部周りのこまめな除雪を行います。

支柱部：設置3年ごとに木部の割れ、腐りなどの確認を行い、必要に応じ下地処理、目止め処理等を行った上で再塗装を行い、設置後1年に1度の汚れ取りなどのクリーニングを行います。

基礎部：木部防腐剤処理の際に合わせてサビ等の確認を行い、必要に応じ錆落とし、塗り替え等の処理を行います。

●維持管理にかかる費用の目安（H17年3月現在）

ビューカラー全体の新規出力費／約70万円（データ変更に係る入力作業、デザイン費込み）

ビューカラーの部分出力／5万円～20万円（変更データの量及び出力面積による）

表示パネル背面カットシート張替／約7万円（表示パネル取外し作業、下地の清掃処理作業込み）

再塗装・表面防腐処理／約7万円（表示パネル取外し、表面の清掃、破損部の補修込み）

3. 圏域界及び各誘導サインの維持管理

●表示板面

画面情報：フィルムシート耐用年数はメーカー保証で5年となっていますが、ベース濃茶色は退色の少ない色であり、さらに数年の耐用は期待できます。

表示情報の追加は、表示面マニュアルに従い逐次刷新を行います。町内の道路整備の進捗状況等によって情報は逐次刷新される必要があり、大規模な情報変更がなくとも、2年～3年おきに情報内容の見直し・確認を行い、必要であれば表示面全体の刷新を行います。

パネル部：画面情報の見直しの際に、サビ、はがれ等の損傷の有無を確認し、必要に応じてフィルムシートの張り替え、チャンネル文字などの塗装処理を行うものとします。

●支持体

北信州の冬期は積雪地域です。支柱は自然木を活用していますので、防腐劣化を出来るだけ防ぐため、降雪時は支柱部・基礎部周りのこまめな除雪を行います。

支柱部：設置後3年ごとに木部の割れ、腐りなどの確認を行い、必要に応じ下地処理、目止め等の処理を行った上で再塗装を行い、設置後1年に1度の汚れ取りなどのクリーニングを行います。

基礎部：木部防腐剤処理の際に合わせてサビ等の確認を行い、必要に応じ錆落とし、塗り替え等の処理を行います。

照明部：圏域界サインの夜間用スポット照明は定期点検（年に2回位）をし、電球が消灯の場合は点検をし電球交換等を直ちに行います。

●維持管理にかかる費用の目安（H17年3月現在）

圏域界・市町村施設誘導表示パネル追加文字貼り加工

1行約1.5万円～約3万円（文字の大きさ、文字数による）

同上誘導表示パネル下地カットシート張替、文字貼り加工

1面約12万円～（表示パネル取外し、下地の清掃処理込み）

施設（大・小型・矢羽型・パネル持出型）誘導表示パネル追加文字貼り加工

1行約1.5万円

同上誘導表示パネル背面カットシート張替、文字貼り加工

1面約10万円（表示パネル取外し、下地の清掃処理込み）

支柱部再塗装・表面防腐処理

約7万円（表示パネル取外し、表面の清掃、破損部の補修込み）